

事務事業名	中学校関東大会・全国大会支援事業 ☐ 実施計画事業		所属部局	教育委員会		単位番号	12072					
			所属課室	教育総務課		課長名	樋口 敏明					
			所属担当	学事担当		担当者名	渡辺 正仁					
基本政策	基本計画体系	V 個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目		
				01	一般	1	0	0	3	0	2	0
政策	23	学校教育の充実	事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金								
施策	36	「生きる力」を育む学校教育の推進										
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返（開始年度 平成15 年度）		法令根拠	南アルプス市小中学校体育大会等出場補助金交付要綱								
	☐ 期間限定複数年度（ ～ 年度）											
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 中学校体育部、文化部が関東大会及び全国大会に出場が決定した場合、その経費の一部を補助する			事業費の主な内訳（ 22年度 ）								
				項目(細節)		金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)		
				大会出場補助金		18,361						
								計		18,361		

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
22年度活動実績	関東大会、全国大会に出場が決定した体育部等の学校長が教育委員会に補助金申請をし、教育委員会で審査し、補助金を交付した。
23年度活動予定	関東大会、全国大会に出場が決定した体育部等の学校長が教育委員会に補助金申請をし、教育委員会で審査し、補助金を交付する
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
関東大会、全国大会出場する体育部、文化部等	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
自己負担をすることなく、大会に出場できる。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
南アルプス市の学校教育の充実	

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
⇒ ア 申請件数	件
イ	
ウ	
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
⇒ ア 大会出場回数	件
イ	
ウ	
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
⇒ ア 補助交付数	件
イ	
ウ	
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
⇒ ア 学校に対する満足度	%
イ	

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円		241					
			一般財源	千円	16,914	18,120	13,434	17,034	17,034	17,034	
	事業費計 (A)			千円	16,914	18,361	13,434	17,034	17,034	17,034	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間								
		人件費計 (B)	千円	0	0	0	0	0	0	0	
		(A)+(B)			千円	16,914	18,361	13,434	17,034	17,034	17,034
活動指標		アイウ	件	45.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0		
		アイウ	件	45.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0		
対象指標		アイウ	件	45.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0		
		アイウ	件	45.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0		
成果指標		アイウ	件	45.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0		
		アイウ	件	45.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0		
上位成果指標		アイ	%								
		アイ	%								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	合併前から、実施しているが、平成18年度に要綱を制定した。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	市内の学校が関東大会や全国大会に出場する機会が増えている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	参加経費が個人負担等になれば大会への出場が出来ない子も出てくる。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容！】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由！】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	その年により出場回数や実施会場が異なることから、公平な教育をするために保護者負担を無くすことが妥当と思われる。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	なし

事務事業名	中学校開東大会・全国大会支援事業	所属部	教育委員会	所属課	教育総務課
-------	------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 保護者負担がないので、児童生徒が経済的理由により体育及び文化活動が制限されることがない。	
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 保護者の経済的理由により部活動に参加することを制限されるようなことがあってはならないため、他に委ねることは出来ない。	
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 全ての生徒に対して行うものであり、保護者の経済的な負担を考慮するためにも、継続していくことが妥当だと考える。	
有効性 評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 現在の水準がすでに高水準である。	
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない	
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 保護者の負担が想定されるため、生徒への平等な扱いが難しくなる。	☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 保護者負担が発生する。
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 活動量を削減することは、成果を下げるにつながるため、削減することは趣旨に反する。	
	⑧人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 学校教育活動の一環であり、実施要綱に沿って補助金として交付しているため、人件費を削減することは出来ない。	
公平性 評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 好成績を残した部活や個人等に係る経費であり、特定な生徒だけに偏っていることはない。	

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	現状のまま事業を実施する。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>☐</td> <td>☒</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>☐</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																					
		削減	維持	増加																			
成果水準	向上	☐	☐	☐																			
	維持	☐	☒																				
	低下	☐																					
(2) 改革改善案について																							
① ② ③																							
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																						
① ② ③	成果優先度評価結果	⑩																					
	コスト削減優先度評価結果	⑥																					